

# 生命の樹セミナー

## 赤痢アメーバのミトソームが持つ特殊な機能 —硫酸活性化経路の生理的意義の解明—

見市 文香 博士

佐賀大学・医学部

分子生命科学講座免疫学分野

見市博士は、赤痢アメーバ(*Entamoeba histolytica*)のミトコンドリア関連オルガネラである‘ミトソーム’のプロテオーム解析を世界に先駆けて行い、その主な機能が硫酸活性化経路であるという画期的な発見をされました。現在、その最終代謝産物である含硫脂質の構造と機能の解析を通じてミトソームの存在意義の解明を目指す研究を進めておられます。今回は十分な時間を取って最新の成果をお話いただき、活発なディスカッションを行いたいと思います。参考：

Mi-ichi et al. 2009 PNAS 106:21731; Mi-ichi et al. 2011 PLoS NTD 5:e1263

日時：2015年3月27日（金）16:00～18:00

場所：計算科学研究センター 会議室A

皆様のご来聴を歓迎いたします。

生物科学専攻 橋本哲男 [hashimoto.tetsuo.gm@u.tsukuba.ac.jp](mailto:hashimoto.tetsuo.gm@u.tsukuba.ac.jp)